

A I を活用した相談システムの構築～蓮花のA I 相談室～ (「ひとりひとり」、「すべての児童・生徒」とつながる仕掛け) (奈良県葛城市)

取組概要

(背景) ・コロナ禍の対面相談制限等から時代に即した相談体制が必要
・SNS相談窓口は全国的に、思うように相談件数が伸びていない

- **GIGAスクール構想による1人1台端末環境を活用し、認知度100%のSNS相談とAI相談システムを構築**
- AIによる日記の解析等により、悩みや不安を相談できない子どもや自身でも認識できていないリスクの早期発見が可能
- AIに見守りを任せるのではなく、人と繋がりがやすくなるためAIを活用

取組の効果

【大原則】

AIは人の代わりにはならず、児童・生徒と先生、周りの大人をつなぐ手段

- 教育委員会と連携し、学校生活の日常の一環に組み入れることで、**認知度100%は達成し、利用回数から一定程度の関心に手ごたえ**
- **ただし、このシステムはあくまでも手段であり、相談を受けた後や早期発見後の対応が最も重要**

創意・工夫した点

- 子ども達に活用し続けてもらえる仕組み
- ・ゲーム感覚で飽きさせない
 - ・相談をメインにしない
 - ・学校生活の一環として組み込み

他団体へのアドバイス

- 大原則を忘れないこと
- 多部署がシームレスに連携すること
- ぜひ情報交換し、アドバイスください！

人口 37,755人 (R4.1.1現在)

担当 子ども・若者サポートセンター

小学生:2,357人(5小学校)

中学生:1,127人(2中学校)



システムの一画面